

公益社団法人 宇都宮青年会議所
2014年度 第4回 常任理事予定者会議事録

日 時：2013年 12月 11日（水）19：40～23：00

場 所：コンセーレ J Cルーム

出席者：

（ 理 事 長 ） : 村上（敬称省略 以下同）
（ 直 前 理 事 長 ） :
（ 副 理 事 長 ） : 朝田、木村(英)、福田(之)、小瀧、須山
（ 専 務 理 事 ） : 中島(崇)
（ 監 事 ） : 黒川
（ 担 当 常 任 理 事 ） : 金、林
（ 全国大会招致会議議長 ） : 羽石
（ 会員拡大会議議長 ） :
（ 協働連携特別会議議長 ） : 篠崎(達)
（ 法令会計審査会議議長 ） : 廣田
（ 事 務 局 長 ） : 橋本

1. 開会宣言 <中島(崇)>（役職名省略 以下同）
2. J C I クリッド唱和 <羽石>
3. J C I ミッション唱和・J C I ビジョン唱和 <篠崎>
4. J C 宣言文朗読並びに綱領唱和 <廣田>
5. 関東地区宣言唱和 <橋本>
6. 出席者の確認 <橋本> 全16名 出席理事13名
7. 議事録作成成人並びに議事録署名人の指名 議事録 <総務委員会>
8. 前回議事録の確認 <中島(崇)>
9. 議題並びに資料の確認 <橋本>
10. 理事長挨拶 <村上>

まずは2013年度のお時間をお借りして2014年度の会議を進めさせていただけることを感謝しながら今日も進めていきたいと思っております。そして、今日も総務委員会の皆さまには予定者期間をお支えいただきまして本当にありがとうございます。総務委員会のすべての皆様にお伝えいただきたいというふうに思います。この予定者の期間であります、我々がこの時間をお借りしながら来年の準備を進めているわけでありまして、ついにもうスタート目前のこの12月に来たわけでありまして、副理事長の皆さんをはじめライン常任理事そして委員長の皆さんがしっかりと来年の委員会のメンバーに来年の方針を伝えていただい

て準備がしっかりと進んでいることに関しましても皆様にお礼をしたいというふうに思います。

前回の理事会からいくつか進んだことがございました。まずは福島復興支援関係ですが、先日、福田副理事長をはじめ人的交流のラインの方々と福島の方に行ってまいりました。来年の福島のブロック会長、そして副会長の皆さまとディスカッションをして、我々がカウンターパートとしてどこと組むのか我々の希望をお伝えして、どうやら伊達 J C さんになりそうだという所でございます。我々が福島に心を寄せて人的交流をとおして支援をして行こうではないかということでございますので、こちらも福田副理事長をはじめ担当ラインがしっかりと準備をしていただけたとおもっておりますのでよろしくお願いをしたいというふうに思います。また我々の姉妹 J C でありますハワイのホノルルチャイニーズ J C、こちらも次年度の理事長が決まったというご連絡がございました。今クリスマスカードを送ってくださいというお願いをしております、昔はクリスマスカードを送るところから一年が始まっておりました。この 5、6 年はそれが滞っていたわけではありますが、この姉妹 J C は J C ならではの関係でありますので、この機会を大切に、育んでいきたいというふうに思います。今日は 12 月 11 日でございます。J C にとって特別な日でございます。ご存知の方いらっしゃいますか。今日は J C のアクティブシーズンデイといひまして、1915 年にセントルイスではじめて例会が行われ J C がはじまったのですが、今日の 12 月 11 日は 1944 年にメキシコで J C I が正式に設立をされた日でございます。今日ウェブ上で生放送されるという話があるのですが、J C I は恒例で、今年度と次年度がちょうどこのアクティブシーズンデイで切り替わります。J C I のヘッドクォーターがセントルイス、チェスターフィールドにあるのですが、ここに行くと J C I の旗と一緒にその年の会頭の国の国旗が掲げられているのです。今日の日本時間 11 時ぐらいに、今年のキアラ・ミラニ会頭のイタリア国旗が降ろされて、来年のシャイン・バスカラン会頭のインドの旗が揚がるという日でございます。このような日にこの会議ができて、皆さんにお伝えできるということも本当に幸運だなというふうに思いますし、こういった話に触れると、改めて J C の歴史や世界観というものをもう一度再確認できるタイミングなのかなというふうに私は今日感じた次第であります。所信にも書かせていただいておりますが、J C はやはり世界と繋がっておりますので、是非、皆さんも暇な時間などを使いバイブルを読んだり、J C I の歴史について調べていただきたいと思ひます。そうすることにより J C に対してより理解が深まるのではないかとこのように思ひます。そしてこのような話を、委員長の皆さま、そして委員会のメンバーの皆さまにもお伝えしていただき、J C の魅力、意義を皆様方から発信していただきたいというふうに思ひます。1 月のスタートまで残り半月となります。会議もあと理事会しかございません。この残りの期間をいかに大切に過ごすかが非常に重要になってくると思ひます。そして今、次年度、さよなら等いろいろ続いていまして、私も少し体調を崩しかけています。皆さんにおかれましても本当に体調にご留意され、残りの期間を過ごしていただきたいというふうに思ひます。今日の会議がまた実り多き会議になりますことをお祈り申し上げて冒頭の挨拶とさせていただきます。

1 1. 直前理事長挨拶

<福田(治)>

欠席のため割愛

1 2. 役員報告

<金>

日本 J C 相互理解確立委員会の状況になりますが、赤松委員長をはじめ宇都宮 J C より 10 名、日本 J C に出向させていただいております。本日 1 年間のプログラム実施の議案が審議可決されました。年間、国内外 60 ヶ

所で、プログラムを実施してまいります。はじめての委員会が12月14日の土曜日に宇都宮で開催されますので、皆様にお知らせください。また京都会議におきまして相互理解プログラムの公開委員会を実施いたしますので、特に実行委員の方には顔を出していただき、どんな内容でやっているのかを感じていただきたいと思います。1月24日金曜日の16時15分から18時まで国際会議所のルーム560で開催いたします。

<中島(崇)> 来週12月18日の水曜日にイタヤにて村上正高君の御礼と山本和則君を励ます会を開催させていただきます。19時受付19時半開会となっております。現状の出席者ですが、来訪のJCの方々38名、シニア52名、メンバーが65名となっております。こちら今年度福田理事長よりご連絡いただき、まず現役を80名まであげなくてはなりません。残り15名の増員が必要となりますので再度ラインで1,2名出していただけるようお声掛けをお願いいたします。尚、現役に関しましては会費5000円となりますが、おもてなしの心を持って節度ある態度でご飲食いただければと思います。

<中島(崇)> 非公式ではございますが、12月9日月曜日に埼玉中央JCが、今年度厚川理事長、そして次年度星野理事長がお見えになりました。宇都宮JCの参加メンバーといたしましては今年度福田理事長、次年度村上理事長、山本会長、そして私が同席させていただきました。話の内容としましては、埼玉中央JCの総会で全国大会の主幹立候補に手をあげ決をとるに当たり、先に手をあげさせていただきますということを、改めて総会前に話を頂戴する機会で行いました。LOMの方向性といたしまして来年主幹立候補に際し、宇都宮JCとしては埼玉中央JCを支援するというかたちで回答をさせていただいておりますので、その旨皆様もお知りおきご存知いただけますようお願いいたします。もちろん会議体を作り宇都宮JCとしてもしっかりと全国大会に向け邁進をしていくという体制を今整えているところでございますが、まずは関東地区会長を輩出しているLOMとしても関東地区を一つにまとめなくてはなりませんので、埼玉中央JCに対する応援の姿勢をお持ちいただけますようお願いいたします。

<村上> この件に関しては色々な柵があり、埼玉中央JCが先に手をあげて2年経っているのです、どうしても先に行かせなくてはなりません。我々がしっかりと応援し、2014年度こそ決めてもらわないと、その分時間が経ち行けなくなってしまうので、全力でバックアップしたいと思います。その中で、我々が協力しながら全国大会について学んでいくことを星野次年度にお話しさせていただきましたので、是非、よいところ悪いところを含めて学び、取り入れてもらえるように羽石議長を中心をお願いしたいと思います。

13. 確認事項

確-01 2014年度 理事長所信について

冒頭

【はじめに】

【世界とのつながり】

<村上>

<林>

<金>

【J Cは学び舎である】 <羽石>
【市民が主役のまちへ】 <篠崎>
【市民意識の変革】 <廣田>
【共助の精神】 <橋本>
【真の「公」をめざすために】 <林>
【市民の信頼と社会の負託に応え得る組織】 <金>
【未来への希望】 <羽石>
【結びに】 <篠崎>

※上記を熟読。

<村上> 世界会議にてJ C Iより人数等の変更の要望がありまして、世界とのつながりのくだりを修正させていただきました。バージョン38で最終確定させていただきたいと思います。

14. 協議事項

協-01 2014年度 事業計画(案)・年間事業フレーム(案)について

橋本事務局長より協議上程

専務グループ 法令会計審査会議 事業計画(案)

廣田議長より協議上程

専務グループ 総務委員会 事業計画(案)

橋本事務局長より協議上程

<中島(崇)> 18行目の『負託に応え得る公益性と透明性の優れた組織の確立に寄与します。』を確立しますに修正願います。

<橋本> 修正いたします。

専務グループ 渉外委員会 事業計画(案)

橋本事務局長より協議上程

<村上> 冒頭の2行目の『だからこそ我々JAYCEEは模範として高い理想を持ち続け、』とありますが、所信で書いた模範は行動の所を指しています。理想を持つ事は模範ではないのでこの模範はいりません。どちらかという行動で模範を示して市民運動、説得力を持たせるということです。

<橋本> 修正いたします。

専務グループ J C運動発信委員会 事業計画(案)

橋本事務局長より協議上程

<中島(崇)> 補足ですが、13行目を修正させていただいております。ASPACは宇都

宮が開いている事業であるような記載でしたので、J C I が主催する事業であるという文言を精査しました。

<村上> 前回もいった賛助企業のくだりの11行目の所ですが、J C 運動の賛同を求めるのはいいのですが、そのあとの地域の活性化がというのは少し違う気がします。賛助企業の目的はJ C 運動の賛同を求めるとともに、L O M の財政規模を強化することなので、そこだけはよろしくお願いします。

人的交流グループ 宮まつり委員会 事業計画(案)

金常任理事より協議上程

<村上> 4行目と17行目の関心を深めるといういい方をするのであれば、関心を高めるでもよいと思いますので、ご一考願います。

人的交流グループ 地域交流委員会 事業計画(案)

金常任理事より協議上程

<中島(崇)> 4行目、5行目の『関係が希薄になっている』のくだりですが、L O M 同士の交流というのはL O M の代表者同士がしております。L O M 同士の交流自体はありますので、メンバーでの交流が必要となってくるという文言の書き方になってくるのかと思います。

<村上> 4行目から5行目までのお話は表現を変えてください。委員長に伝えていただきたいのですが、僕が思っていることはずばり所信に書いてあります。この所信の2ページ目の『青年会議所だからこそ持てるあらゆる機会を享受し、切磋琢磨をして相互発展する』。そこがやはり目的になるのかなと思います。だからさらに姉妹J C であるホノルルチャイニーズJ C との交流を発展させていくことで結果我々の地域もよくなるというロジックなのです。関係を再構築する場面の最終的な到達地点に関わってきますので、前向きな捉え方をしてもっと深くみてもらいたいと思います。

未来創造グループ 政策委員会 事業計画(案)

林常任理事より協議上程

<村上> 7行目の『宇都宮市長から直接講話をいただきます』というくだり、『J C の先輩として』と書いてあるのですが、J C の先輩としての話が聞きたいのか、市長としての話が聞きたいのかが曖昧になっているのでご一考願います。

未来創造グループ 青少年育成委員会 事業計画(案)

林常任理事より協議上程

<中島(崇)> 15行目『仲間や地域とのつながりを大切にすることで』、こちらは体裁の問題だとも思いますので、修正をお願いします。

<須山> ボランティア活動の言葉は前回まではありませんでしたが、今回のクールか

ら出てきたのは何か意図があるのでしょうか。

<林> 当初はボランティア活動ということ想定しながら書き始めました。途中の段階で一度削除した経緯がありましたが、相馬委員長としましては次年度におきまして、多くの市民を巻き込むなかで、ボランティアさんにも多数参加していただきたいという思いが当初からありましたので、今回そちらの文言をもう一度はっきり示すということで追加させていただきました。

<須山> 一般の奉仕活動でゴミ拾いや町に何かをするボランティアではなく、わんぱく相撲・ストリートダンスに対する人員要請ということですか？

<林> わんぱく相撲やダンスのなかでのボランティアさんの役割等々はこれから委員会で検討するところですが、そういった中で募っていきたいと思っています。

<村上> ボランティアを募るのは新しいアプローチ方法としていいと思います。日本語の書き方として『スポーツやボランティア活動などの機会を創出し』と並列で書いてありますが、このスポーツの対象者は子どもであり、ボランティアと並列に書くと市民に対してスポーツの機会を提供するというふうに読み取れてしまうので、書き方を検討していただきたいと思います。あと4行目の『地域らしさを再確認し、地域への帰属意識』の中身が繋がってこないです。ご一考していただきたいと思います。

全国大会グループ 全国大会招致会議 事業計画(案)

羽石議長より協議上程

<村上> 最後の17、18行目が若干気になるんですけど、言おうとしていることはわかりますが、今年この契機は作り出せるのかという話です。もう一度再考してほしいと思います。

会員拡大グループ 会員拡大会議 事業計画(案)

木村副理事長より協議上程

<村上> 模索ではなく確立にしてください。

協働連携グループ 協働連携特別会議 事業計画(案)

篠崎議長より協議上程

<橋本> 2、3行目に関して『拡大が順調に進み、傍から見れば勢いのあるLOMに見えますが、』とあり、続けて『市民の模範となるように振る舞いができなければなりません。』という流れになっていますが、続く言葉の前に、『その為』を入れた方が非常にわかり易い文章になり、しっくりくると感じました。

<村上> 全体的な文章の書き方に統一感がない。特に出向の部分がすごく纏まりのない文書に読めてしまいます。それと橋本事務局長が話しましたがけれども1行目2行目の話はどこから出てきたのですか。

<篠崎(達)> 近年の宇都宮J Cの観点からで、アカデミーをやらなくてはならない。アカデミーをやるとなると、3年未満があげられるので、それに見合うところで抽出させていただきました。

<村上> でも、これと主観に違和感があります。こういう見方があるのはすごく理解しますが、所信に触れていません。多分、福田理事長が2013年でよく話している、20%以上拡大しているからプライドを持ってというフレーズだと思いますが、2014年のアプローチとは観点が違うという所に違和感があります。あと最後のJCI NOTHING BUT NETSキャンペーンの部分ですが、現状を養うためにやるわけではありません。これは人を救う事業なので、目的が少し違うのかなというふうに思います。事業の趣旨をもう一度理解し、修正をしていただきたいと思います。

協-02 1月例会 新春交流会開催計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき橋本事務局長より上程文よみあげ

<中島(崇)> 意見と対応のフォーマットがおかしいので体裁をしっかりと整えるようにしてください。

<金> ムービはどうなりましたか。

<橋本> J C運動発信委員会にて作成いたしますが、前回正副の時にご意見いただきまして、いったん議案を取り下げさせていただきます。渉外委員会の新春例会の中身で一般会計の方から費用を捻出し、理事の確認を持って撮影をし、常任であげさせていただきたいと思います。

<金> マイクの所で話すだけではなく、プロジェクターに映し出すのですか。

<橋本> 現時点では考えていません。

<中島(崇)> 補足ですが、新春例会で使用するムービに関しては、年間を通じて公益事業として宇都宮J C、そして宇都宮を発信できるような内容を議案として考え、進めてきましたが、一度こちらの内容を含めLOMベースで考え直すということになりましたので、J C運動発信委員会の議案をいったん取り下げいたします。こちらは1月のクールから再度上程というかたちで一から作り直し、上程させていただきたいと思います。これに伴い、新春交流会に委員長スピーチの前に流すムービに関しては、現状作成を進めておりますがこちらに関しましては理事長のチェックのもと新春交流会のムービは撮影するというところで、議案としてではなく会のプロモーションという形でムービを進めさせていただきます。

<村上> 御苦労が絶えないで部分が多いと思いますが、委員会のピーアールの部分で前回の正副で意見を述べさせていただき、それでこういった設えで今回作っていただいたのですが、これをもう少し一分でしゃべるガイドライン的なものをフォーマット化してあげないと、個人のスキルによってバラバラになることが想像できしなうと思います。ただ会として発表するので、やはり聞く側の目線で考え、しっかりと発信ができるようにチェックしたいと思います。委員長の皆様にこの制限でやってくださいと振るのではなく、もう少し細か

くしてあげて欲しいと思います。そのパワーポイントをみる側の立場で考えるとただ上がり話すだけだと飽きると思いますので、視覚的なものを検討して欲しいと思います。

協-03 第109回通常総会（案）について

協議資料に基づき橋本事務局長より上程文よみあげ

<中島(崇)> 12番の(2)の④ですが、小瀧副理事から指摘された課題ですが、大きくならないようにできるというご意見をいただいたと思いますので、修正をお願いいたします。それから意見と対応の開催日のフォーマットがずれていますので、これも直してください。議案上程スケジュールの部分も同じように直してください。

<朝田> 意見と対応の所ですが、少し書き方を精査していただきたいと思います。たとえば第3回常任理事会理事予定者会議の『大変失礼いたしました。』それはいいですね。あと工夫と期待される効果という所ですが、これ去年と同じでしたら消した方がいいのではないかと思います。と言っているのですが、検討しますといったまま、ずっと同じものを書き続けています。もし検討されているのならば、いったん消して考えられた方がいいのではないかとおもいます。

<村上> 私からは大前提として、出席していただくことが大切なことだと思いますので、委任状のことはいっぱい書いてありますが、より多くの人に出席いただけるように準備していただきたいと思います。

協-04 2月例会 市長を囲む会開催計画並びに予算（案）について

協議資料に基づき林常任理事より上程文よみあげ

<金> 事業実施の根幹の部分で『行政との考えが一致しているかを確認する必要があります』とありますが、行政と考えが一致する必要があるのか非常に違和感を感じます。あと事業目的の所で、写真撮影を実施するなど宇都宮市長の所よりおおくのビジターをお招きし、新会員との拡大を図るというような事業内容が書かれていますが、ということは事業内容の一つに会員の拡大が入るのかなとおもいますので、そこをもう一度再考していただきたいと思います。あと講演の題目ですが、宇都宮の取り組みについてなぜこれにしたのか、また将来像について地域ブランド、スマートホーム型シティこれはどういう理由で選定されたのかが議案で読み取れないので、もう少し明確にする必要があるのかと思います。それと備品リストが入っておりません。本当に予算がかからないのか検証するためにもしっかりと備品リストを作成したほうが宜しいのではないかと思います。

<林> 事業実施の背景は一致してるかという文言ですが、委員会に持ち帰りまして委員長とよく精査したいと思います。目的に関しても、同じく事業内容をもう少しよく考えて精査し、次回の理事会に臨みたいと思います。備品リストに関しては参考資料の運営マニュアルのページに添付させていただいています。内容に関しては必要なものをもう一度精査する必要がありますので、も

う一度よく見直しをしたいと思います。なぜこういうタイトルにしてあるのかという部分に関しては、事業計画を考えて行く中で委員長の思いというのが一番強く出ているところであったからであります。また委員会自体一度しかできておりませんのでもう一度精査したいと思います。

<木村(英)> 3番の参加員数計画になりますが、ビジターが10名になっておりますが、多分ここ最近10数名は来ています。10名というのはどこからきたのですか。

<林> 特に理由はありませんが、市長例会は非常に多くのビジターの方がこれまで参加した実績がありますので、こちらの方も委員会で精査します。

<篠崎(達)> 計画も立てるでしょうからどれ位呼び込めばいいか太城議長に相談するとよいと思います。

<林> 拡大委員会との連携が必要だと思いますので、一度太城議長とよく打合せをしたいと思います。

<須山> 宇都宮総合企画のパンフレットとアンケートを配布するとありますが、結構な量ですが全員で全部読むのでしょうか。マスタープランというものをみたことあるのでしょうか。全員が熟読して学ばなければいけないのでしょうか。お聞かせいただければと思います。

<林> こちら宇都宮市基本自治条例に関しまして宇都宮市のホームページに色々な資料が掲載されております。中にはわかりやすくコンパクトになった資料がございますので、まずはそういったものをみていただけますとわかり易いかなと思います。そういったものも含めて事前に委員会メンバーのみなさんにご案内をしたり、もしくはアンケートをとる際にそういったお話ができるかなと思います。その辺の方向について中島委員長とお話をして行きたいと思います。

<須山> そうしましたら是非委員会で今回の例会の内容と勉強をしてもらい、是非検証していただいて、どこを読んで要点をみんなに伝えていくかを考えた方が効果的な例会になるのかなと思いますので、まずはしっかりと検証してください。

<林> 内容の方を委員会メンバーで読み込んできちんと伝えられるように準備して行きたいと思います。

<金> 審議対象資料の6番、市長講演依頼文ですが、改行が多すぎてもう少し体裁を整えた方がよろしいのではと思います。もう一つ審議対象資料11番ビジター配布資料ですが、すごくいい取り組みだと思います。ただ内容の方をみるとお越しになりましたビジターさんでは失礼ではないかなと、ビジターの皆さまとかお越しになりました方へとか、それとせっかく作るのであればもっと内容を厚くするというか、たとえば宇都宮JCの活動の歴史だとか近年の主な実施内容だとかそういったものまで載せていくことでビジターで来られた方に興味を持つように、もちろん要望していくこともプラスしてそこら辺を委員会内で検討していただければと思います。

<林> いただいた意見をよく精査して検討してまいります。

- <小瀧> 市長例会囲む会ですから市長からいろいろお話をいただくとお思いますし、こちらからも疑問、質問をアンケートにまとめてそれに対するの答えを聞くと思うのですけれどもその後のこれをやったことによる市民への意識喚起というのはなにもないのですか。事業計画にあるように我々から市民へ意識喚起を行いますって書いてあるので、そのなにかがないのかなという所が質問です。
- <林> 市民に対する意識喚起という点では特にそういった設えはありません。ただ今回主な対象者が宇都宮 J C の対内ですのでこの例会が終わった後のアンケートで宇都宮 J C メンバーが宇都宮市政に対し、どういった疑問を持ち、どういったことについて知りたいと思っているのか、そういった市長例会に関しての検証というものをアンケートでできるようにと考えておりますので、それをもって次の 1 1 例会につなげるような姿勢ができればと考えています。
- <村上> 対外目的をもう一回考えてもらいたいと思うのですが、市政に関する見識を養う、見識という表現が合うのか、そこら辺をもう一度適切かどうか考えてもらいたいと思います。仮にこの日に何かたとえば市長が大きなアクセシビリティで来れなくなった場合にこの設えはどうなるのでしょうか。
- <林> 市長ありきの内容になっておりますので正直想定できていなかったです。
- <村上> この前の正副の時に J C の先輩と呼ぶのではないというお話をしました。目的にも先輩として呼びますというふうに書いてあるわけではないので分けて考えた欲しいです市長が来たときは J C の話はしますよ。J C が大好きでなんでそれはありがたく受けとめればいい話であり、J C の先輩ありきの事業ではないと思っています。市長が来れなかった場合はおそらく副市長が来ます。副市長が来てもこの目的は達成しなければなりません。であるならば J C の先輩ありきという部分はやはり省かないといけないと思います。二部構成になっていますが、完全に J C の経験を踏まえてと書かれているので、どうしてもこの設えに違和感が出てくるのです。副市長が来てもしっかりとこの目的が達成できるような内容にしていきたいと思えます。それと連動して案内文、講演のお願いも修正すべきだと思います。

協-05 理事長職務代行者指名(案)について

協議資料に基づき橋本事務局長より上程文よみあげ

- <中島(崇)> 定款で定められている筆頭というフレーズが、新たにその選任の件という所での記載の議案となります。こちらに関しては議案用のフォーマットで上程させていただくかたちになります。入会年度順、入会年度順が同年の場合は生年月日順というかたちでの順番にさせていただきます。

15. 報告依頼事項

報-01 2014年度 組織図(案)・対外出向者(案)について

<中島(崇)> 最新の組織図がバージョンアップされていません。薄井君が総務委員会、青木君がJC運動発信委員会に配属が決定しておりますのでよろしくお願い致します。尚、全国大会招致会議に入っております林君ですが、仕事の関係上、年内いっぱいというかたちになり次年度の継続はありませんので、現行人数138名から137名でスタートすることになります。

<中島(崇)> 対外出向者(案)で更新しているところで栃木ブロック協議会、JCネットワーク委員会こちら高松副会長のラインの委員会ですが、委員に加賀田君松井君、澤畑監事が加わります。現状ブロックの委員に関しても私の方で各委員長の皆さまにご連絡をさせていただいたうえで、ブロック委員出向の推薦のご協力をいただき年内中にすべて確定させていきたいと思っております。

報-02 2014年度 年間公式スケジュール (案)

<中島(崇)> 前回からの変更点として、国際アカデミーの日付と会頭公式訪問が決まっております。栃木ブロックの事業ですが2月1日土曜日が日光会議、翌週5日水曜日が会頭公式訪問、例年よりもスケジュールがタイトになっております。メンバーもしっかりと参加していただきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。それと修正でございますが、世界会議が24日月曜日から28日金曜日となっておりますが、一日延びて29日土曜日までになります。それと一点公式スケジュールとしてお伝えいたしますが、事業計画書を法令会計審査会議の方で提出をさせていただいておりますが、公益事業の比率の観点という所もありまして、現状ぎりぎりの所であります。ラインにはお話はさせていただいておりますが、小瀧副理事長率いる全国大会グループの方で公益事業を一本入れさせていただきます。開催月が6月となりますが、ASPACが前半にありますので6月後半に予定しております。こちらの内容に関しては追々議案を含めラインと協議しまして、皆様にはご協議、ご検討していただければと思います。こちら次回理事会の際には公式スケジュールという形で日程を入れさせていただきますと思います。

報-03 今後のスケジュールについて

<中島(崇)> 今週土曜日に赤松委員長率いる相互理解確立委員会の公開委員会が表参道スクエア宇都宮で開催されます。それから18日には村上常任の御礼と山本会長を励ます会、そして22日が今年度さよなら例会、25日が第4回理事予定者会議となります。それと先月の理事会にて木村副理事からお話がありましたが、1月例会に向けビジターさんのビジター情報の抽出吸い上げをさせていただきたいと思っております。こちら資料に添付するような形とさせていただきますが、事前に情報は各委員長の皆さまから集めていただくような形でお願致します。

16. 監事講評

<黒川>

まずは総務委員会の皆さま、本日、設営本当にお疲れ様でした。また渉外委員会の柿沼君最後までお疲れ様でした。本日資料の方でちょっと不備がありました。次回はしっかりと準備していただきたいと思っております。それとセレモニーの時にネームプレートをしていない方がおられましたので是非と

もセレモニー前、できればこの会場に入る時にはネームプレートをしていただきたいと思います。そして本日、理事長所信の方をこの常任理事の皆様にご覧いただきましたが、何かしっかりと読んでいない方がわかれているなど、私の方は感じました。やはり12月でございますので、何度も何度も読んでいるとは思いますが、まだ半月以上ありますので、1月までしっかりと読んでいただければと思います。またですね本日の会議全体的に元気がないなど私感じました。上程されている方をみても、元気がないなど感じることもありましたが、是非ともこの常任理事会構成メンバーは模範となるべく元気をもって常任理事会に臨んでいただければと思います。やはりこの常任理事の元気がなければ下にいる委員長たちにもやはり影響が出てくると思いますので、しっかりと次回の常任理事会には元気をもって臨んでいただければと思います。

最後になりますがこれから12月仕事も忙しくなってくるとは思いますがしっかりと体の方をご自愛いただいて、来年1月がよいスタートを切れまそうようにしっかりとした準備をしていただければと思います。以上大変簡単ではございますが、私からの監事講評とさせていただきます。

17. 閉会宣言

<中島(崇)>

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第4回 常任理事予定者会議議事録

議長：(専務理事) 中島 崇

議事録作成：総務委員会